

課 題	1	新しい時代を担う子どもの育成
重点項目	4	学校教育の充実

目的

子どもたちを取り巻く学習・教育環境が急激に変化するなかで、子どもたちの「生きる力」を培うため、学校教育環境の一層の整備充実を図ります。

対象・手段

対象：子ども

手段：学校適正配置計画に基づく新校建設(よりよい教育環境づくりと地域に開かれた学校づくり)
 特色ある学校づくり教育活動計画(3か年計画)に基づき、計画的な学習の実施
 区の費用負担による講師の配置(教育効果を高める少人数学習指導等)
 「スクールスタッフ新宿」(地域の人材を各学校で相互に活用する仕組み)

重点項目の方向

21世紀を担う子どもたちが、幅広い知識や考える力、心身のたくましさや豊かな感性などの「生きる力」を身につけることが強く求められています。

このためには、学校が児童・生徒の学習や生活の場としてふさわしい、よりよい教育環境づくりを行います。また、各学校においては、中長期的な視点に立った計画的な特色ある学校づくりを進めるとともに、個に応じたきめ細かな指導、地域人材の活用を充実していきます。

成果指標

指標名		定義		目標水準		
学校適正配置計画に基づく計画的整備(統合新校「四谷小学校」の新校舎・落成)		進捗率 基本設計・実施設計をもって50%とする 新校舎落成をもって100%とする		(平成18年度に)	100%の水準達成	
中長期的な視点に沿って特色ある学校づくりに取り組む学校		左記の内容に取り組む学校数		(毎年度に)	全校の水準達成	
小・中学校における少人数指導等の配置数		全小・中学校のうち少人数学習指導等の配置数		(毎年度に)	全校の水準達成	
重点項目の達成状況						
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
重点項目 成果指標	目標値1	%	100.00	100.00	100.00	17年度統廃合により2校減になっています。
	実績1	%	30.00	60.00	100.00	
	目標達成率1 = /	%	30.00	60.00	100.00	
	目標値2	校	44.00	42.00	42.00	
	実績2	校	44.00	42.00	42.00	
	目標達成率2 = /	%	100.00	100.00	100.00	
	目標値3	校	43.00	41.00	41.00	
	実績3	校	41.00	38.00	38.00	
	目標達成率3 = /	%	95.35	92.68	92.68	

主な取組み

- 学校施設の計画的整備 第五次・学校適正配置計画(戸塚・大久保地区中学校適正配置)
第六次・学校適正配置計画(四谷地区小学校適正配置)
- 特色ある学校づくり 計画的な学習活動の実施、総合的な学習の時間の運営、校内研修会の実施等
- 少人数学習指導の推進 区の費用負担による講師を配置し、児童・生徒の個に応じた指導を充実
- 地域学校協力体制の整備 「スクールスタッフ新宿」を導入(学校ごとに学校ボランティア、教育インターンシップを活用)

課題

学校適正配置ビジョンを推進するため、今後、適正配置未実施地区の実施時期等について、更に検討していく必要があります。

特色ある学校づくりでは、学校(園)長の裁量権を拡大していく中で、より自主的・自律的な教育活動の展開が可能になる仕組みづくりが必要となってきます。

少人数学習指導の保護者要望は高く、学校間の均衡を図りつつ、学校での活用方法の質を高めることが課題です。「スクールスタッフ新宿」では、今後、地域の人材の掘り起こしや、相互活用の円滑化に取組んでいく必要があります。

評価

総合評価	
<p>子どもたちを取り巻く学習・教育環境が急激に変化する中で、施策目標の実現のために早急に取組むべき各事業をほぼ計画どおり達成できました。このことにより、全体的には子どもたちの「生きる力」の育成と心身ともにたくましい成長に寄与できたものと評価しています。</p> <p>学校の適正配置計画は、第六次学校適正配置計画を進め、19年度四谷小学校が開校しました。第五次学校適正配置計画については、関係者の協力により計画どおりに進み、20年2月の新校舎竣工に向けて建設工事に着手しました。また、西戸山地区中学校の適正配置は第七次学校適正配置計画が決定し、統合協議会での協議を進めています。</p> <p>特色ある学校づくりでは、平成17年度に各校(園)ごとに策定した「特色ある学校づくり教育活動計画」に沿って、経営上の目標を的確に設定しつつ、実践を続けています。予算編成の段階から校(園)長の裁量を拡大する取り組みとして、概ね順調に事業実施できたものと評価しています。</p> <p>少人数学習指導の推進では、個に応じたきめ細かな指導への各学校・保護者からの期待は高く、区の費用負担による講師派遣により指導体制を充実させ、確かな学力の育成に成果をあげています。</p> <p>地域学校協力体制の整備では、地域に根ざした教育活動を推進するために有効な事業と考えます。</p>	B

今後の取組み・改革の方針

子どもの「学力」や「学ぶ意欲」の低下に対する不安や議論が展開される中で、「確かな学力」の育成や個性を伸ばす教育の推進が強く求められています。教育の環境整備の面では、学校の適正配置をさらに進め、よりよい教育環境と地域開放にも配慮した魅力ある学校づくりを進める必要があります。今後は、「確かな学力」の育成のため学校の体制づくりを進めるほか、わかりやすい授業の創造と教員の資質・指導力の向上が課題です。また、地域に根ざした教育活動を推進するため、地域の人材の掘り起こしや相互連携の円滑化を図ることが必要です。学校適正配置においては、計画を進める際に計画段階から地域住民の意向を確認する手法を検討していきます。

重点項目を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
学校施設の計画的整備	B	85		
特色ある学校づくり	B	69		
少人数学習指導の推進	B	73		
地域学校協力体制の整備	B	79		